

単元名	「この果物、なあに？」
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ フラッシュカードを見て、家族の名前を英語で言う。 ○ ゲームを楽しみながら、家族の英語に親しむ。
教材 教具	<p>HRT CDプレーヤー、果物の名前が日本語で書かれた買い物メモ 英語ノート1 (p17)</p> <p>ALT CD、果物と数字のフラッシュカード、果物ゲームカード</p>
授業計画	<p>1. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 元気に英語であいさつをする。 <p>2. 歌</p> <ul style="list-style-type: none"> ● “Ten steps”の歌 英語ノート1-L3(前時のおさらいの歌) <p>3. 復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ALTはフラッシュカードを使って、1～10の数字を復習する。 ● 指導者は “What's this ?”と数字を尋ね、児童は “It's ～.”と答える。 <p>4. 新しい単語 の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ALTはフラッシュカードを使って、果物の名前を教える。 ● 児童はALTの後に続いて繰り返すことで、新しい単語に慣れるようにする。 ● 指導者は “What's this ?”と果物を尋ね、児童は “It's a(n)～.”と答える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>すいか, パイナップル, りんご, みかん, いちご 桃, バナナ, ぶどう, さくらんぼ, 梨</p> </div> <p>5. ゲーム1</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 指導者は、果物フラッシュカードを黒板に並べる。 ② HRTとALTは「なくなったのは、何？ゲーム」の見本を見せる。 ③ 児童は目を閉じて、1から10まで英語で数える。 ④ 指導者は果物フラッシュカードの中から1枚を抜き、カードの配置を入れ替える。 ⑤ 児童は無くなった果物フラッシュカードが何かを当てる。以上を繰り返す。 <ul style="list-style-type: none"> ● 慣れてきたら、フラッシュカードを抜く数を1枚から2枚、3枚と増やしていくとよい <p>6. ゲーム2</p> <ol style="list-style-type: none"> ① HRTとALTは「お買い物ゲーム」の見本を見せる。 ② 児童は5～6人のグループにわかれる。HRTは児童に買い物を頼むお家の人役、ALTは果物屋さん役をする。ALTは果物ゲームカードを机上に並べておく。 ③ 各グループの1名～数名の児童は、HRTの所へ行き、買い物メモをもらう。 ④ 児童はALTの所へ買い物に行く。ALT “What fruit do you want ?”→児童「～(果物)、please.」→ALT “Here you are.”(児童の注文した果物カードを渡す) →児童 “Thank you.”→ALTと児童 “Good bye.” ⑤ 児童は手に入れた果物カードをHRTに渡す。買い物メモと同じ果物カードを持ってこられたら得点が入る。買い物をする児童を交代しながら③～⑤を繰り返す。 <ul style="list-style-type: none"> ● 自信の無い児童は、同じグループの児童と相談してもよいこととする。 <p>7. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 児童の態度や英語面についてよかったところを具体的にあげることで、次時への意欲を高めるようにする。 ● 気持ちのよいあいさつを英語で交わすことで、笑顔で授業を終わる。

単元名	「家族の名前は、なあに？」
ねらい	○ フラッシュカードを見て、家族の名前を英語で言う。 ○ ゲームを楽しみながら、家族の英語に親しむ。
教材 教具	HRT CDプレーヤー ALT CD、家族の名前と天気フラッシュカード、家族の名前ゲームカード
授業計画	<p>1. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 元気に英語であいさつをした後、今日の天気を確認する。 <p>2. 歌</p> <p>3. 復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ALTはフラッシュカードを使って、天気の名前を復習する。 ● 指導者は”How's the weather ?”と児童に天気を尋ね、児童は”It's ~.”と答える。 <p>4. 新しい単語 の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ALTはフラッシュカードを使って、家族の名前を教える。 ● 児童はALTの後に続いて繰り返すことで、新しい単語に慣れるようにする。 ● 指導者は”What's this ?”と家族の名前を尋ね、児童は”It's ~.”と答える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> お父さん、お母さん、妹、弟、おばあさん、おじいさん </div> <p>5. ゲーム1</p> <ol style="list-style-type: none"> ① HRTとALTは「私はだれよゲーム」の見本を見せる。 ② 指導者は家族の名前ゲームカードを児童に一枚ずつ配る。 ③ 指導者は6つの家族の名前の中から、1人の名前を英語で言う。 ④ 言われたゲームカードを持っている児童は、大きな声でその英語を言いながら、カードを高く掲げる。 ⑤ 適宜ゲームカードを交換しながら③～④を繰り返す。 <ul style="list-style-type: none"> ● 慣れてきたら、指導者役をボランティア児童が行うようにしてもよい。 <p>6. ゲーム2</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 児童は自分のイスを円に並べて座る。最初にオニになる児童を一人決め、オニの児童の椅子をぬいておく。 ② 指導者は家族の名前ゲームカードを児童に一枚ずつ配る。 ③ HRTとALTは「ファミリーバスケット」の見本を見せる。 ④ オニは6つの家族の中から、1人の名前を英語で言う。 ⑤ 言われたゲームカードを持っている児童は、立って別の椅子へ移動する。椅子に座れなかった児童は次のオニになる。 ⑥ ④～⑤を繰り返す。 <ul style="list-style-type: none"> ● オニが「ファミリーバスケット」と言えば、全員が立って移動する。 ● 楽しく活動した児童を英語で称揚する。 <p>7. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 児童の態度や英語面についてよかったところを具体的にあげることで、次時への意欲を高めるようにする。 ● 気持ちのよいあいさつを英語で交わすことで、笑顔で授業を終わる。

単元名	「お正月を楽しもう」
ねらい	○ 顔の部分を表す単語を言う。 ○ 福笑いなどのお正月の遊びを楽しむことができる
教材 教具	HRT CDプレーヤー、目かくし用のアイマスク ALT CD、フラッシュカード(顔の部分) 福笑い用の顔のパーツ(グループ数)(小学校英語活動コンテンツにあり)
授業計画	<p>1. あいさつ</p> <p>2. お正月の話・歌</p> <p>3. 新しい単語の練習</p> <p>4. ゲーム1</p> <p>5. ゲーム2</p> <p>6. あいさつ</p>
	<p>1. 英語であいさつした後、日付や天気を確認する。</p> <p>• ALTの国のお正月の話聞く</p> <p>• 顔の部分。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>eyes (目) , nose (鼻) , mouth (口) , ears (耳) , eyebrows (眉毛)</p> </div> <p>• フラッシュカードを見ながら練習する。</p> <p>• 鼻 鼻 ゲーム</p> <p>• 福笑い</p> <p>• グループで行う。制限時間を決めておく。</p> <p>① 黒板に顔の輪郭を書く。</p> <p>② グループから1人選び、目かくしをする。</p> <p>③ パーツを渡す児童が、英語で顔の部分の名前を言い、目かくしをしている児童に渡す。</p> <p>④ グループの残りの児童は“up” “down” “right” “left” “stop” “OK” という指示を出す。</p> <p>⑤ できあがったら、みんなで見て楽しむ。</p> <p>• 時間に余裕があれば、グループの中で役割交代をして何回か楽しむ。</p> <p>• 気持ちのよいあいさつを英語で交わすことで、笑顔で授業を終わる。</p>

単元名	「スポーツをしよう。」
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツを表す英語を言う。 ○ Let's を使って、相手を誘う。
教材 教具	<p>HRT なし</p> <p>ALT スポーツフラッシュカード ゲームカード</p> <p> 教科のフラッシュカード 色フラッシュカード</p>
授業計画	<p>1. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 元気に英語であいさつをした後、今日の天気を確認する。 <p>2. 歌</p> <p>3. 復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 教科を表す英語を復習し、推理ゲームをしてもよい。 ● 色を復習する。物を指差して、色を聞く。 <p>4. 新しい単語 の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スポーツの名前を学ぶ。レッスン3の応用として何名かの児童に“Do you like～?”と聞いてみる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">Tennis, baseball, swimming, soccer, basketball, volleyball, table tennis, golf, bad minton, dodge ball, rugby, “Let’s play～”, “No, thank you.”, “OK.”</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ● “Let’s play～”という表現を覚える。HRTが時間をとって説明の補足をしてもよい。“No, thank you .”, “OK.”という表現も教える。 <p>5. ゲーム1</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スポーツジェスチャーゲーム <ol style="list-style-type: none"> ① 児童に分からないようにスポーツフラッシュカードを選び、そのスポーツの動作をし、児童が当てる。 ② 児童が前に出て、フラッシュカードを選び、そのスポーツの動作をする。すべてのカードについて同様に行う。 <p>6. ゲーム2</p> <ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ神経衰弱ゲーム <ol style="list-style-type: none"> ① HRTとALTと2人の児童で見本を見せる。教師1名と児童1名で2つのチームを作る。 ② スポーツゲームカードを2セット用意し、よく混ぜ合わせる。すべてのカードの絵を下向きにして何列か並べる。ゲームは協力して行う。どちらのチームが先に行くか決める。 ③ 先に行くチームの一人がカードを1枚取り、“Let’s play～”と言う。同じチームの別の児童が他のカードを1枚取り、同じスポーツであれば“OK.”と言う。違うスポーツであれば“No, thank you.”と言う。 <ul style="list-style-type: none"> ● すべての児童が理解できるまで続ける。クラスをチームに分けて、ゲームを行う。 <p>7. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 児童の態度や英語面についてよかったところを具体的にあげることで、次時への意欲を高めるようにする。 ● 気持ちのよいあいさつを英語で交わすことで、笑顔で授業を終わる。

単元名	外来語を知ろう 3/3
ねらい	○ ほしいものをたずねたり、要求したりして、フルーツパフェを作る。
教材 教具	HRT 英語ノート、CD、CD プレーヤー ALT 絵カード 児童 英語ノート、筆記用具、はさみ、のり
授業計画	<p>1. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 英語であいさつをした後、日付や天気を確認する。 <p>2. 歌</p> <p>3. 復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● チャンツ＜英語ノート／36・37＞ “What do you want?” ● 食べ物絵カードを使ってALTと外来語を復習する。 <p>4. ゲーム1</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オリジナル・フルーツ・パフェを作る。＜英語ノート／40・41＞ ① 巻末絵カードを切り取り、好きなものを選んでパフェのグラスにのせる。 ② ペアに、自分の作ったフルーツ・パフェを紹介する。 ● ALTとHRTは絵カード(拡大版)を黒板に貼り、互いに自分のパフェを紹介する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>apples, kiwis, strawberries, bananas, melon, pineapples, peaches, grapes, cherries, oranges, A: “This is my parfait.” “I like apples, kiwis and strawberries.” H: “This is my parfait.” “I like bananas, melon, and pineapples.”</p> </div> <p>5. ゲーム2</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ペアで店員と客に分かれてフルーツ・パフェを作る。＜英語ノート／40・41＞ ① ペアになり、英語ノートと絵カードを交換し、それぞれが店員と客になる。 ② 店員は”What do you want?”とたずね、客は自分がほしい果物を “～, please.”で答える。 ③ 店員は、要求された絵カードを、相手の英語ノートのパフェのグラスの上に置く、できあがったら、客に渡す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>H: “Hello.” A: “Hello, what do you want?” H: “Peach, grapes and cherries, please.” A: “OK. Here you are.” H: “Thank you.” A: “You're welcome.”</p> </div> <p>6. 復習</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 今日学習した表現をもう一度発音する。 <p>7. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 児童の態度や英語面についてよかったことを具体的にあげることで、次時への意欲を高めるようにする。 ● 気持ちのよいあいさつを英語で交わすことで、笑顔で授業を終わる。

単元名	できることを紹介しよう 2/4
ねらい	○ できることができるかを友達に尋ねたり、答えたりする。
教材 教具	HRT 英語ノート(CD)、CDプレーヤー ALT 動作絵カード 児童 英語ノート、筆記用具
授業計画	<p>1. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 英語であいさつをした後、日付や天気を確認する。 <p>2. 復習</p> <ul style="list-style-type: none"> チャンツ “I can swim” (CD26) をする。 <ol style="list-style-type: none"> 1回目は、リズムに合わせて言う。 2回目は、ジェスチャーをつけて言う。 <p>3. 言葉の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> フラッシュカード(動作)を見せながら、それぞれを英語で言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>play baseball / play soccer/ play table tennis / play kendama / play the piano / play the guitar / ride a unicycle / cook / swim</p> </div> <p>4. 表現の練習</p> <ul style="list-style-type: none"> できるかを尋ねたり、それに答えたりする表現を練習する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> Can you play baseball? (soccer/ table tennis / kendama / the piano / the guitar) Can you ride a unicycle? Can you cook? (swim) Yes, I can. / No, I can't. </div> <ul style="list-style-type: none"> HRTとALTで見本を見せる。 HRTやALTが質問し、それに児童が答えたり、児童がHRTやALTに質問したりする。 児童が二人組(隣同士)になって質問したり、それに答えたりして表現になれる。 CD27を聞いて、英語ノートP26のその動作の絵を指す。 <p>5. ゲーム1</p> <ul style="list-style-type: none"> ジェスチャーゲームをする。 <p>① 指導者や友達のジェスチャーを見て、フラッシュカードの中のどの動作かを答える。 “What is ○○sensei doing ?” “Playing baseball ?” “swimming.”</p> <p>6. ゲーム2</p> <ul style="list-style-type: none"> インタビューゲームをする。 <p>① インタビューをする二人組を作る。</p> <p>② 相手が英語ノートP26の9つのことができるかを予想する。それぞれの絵の右下の四角にできると思えば「○」、できないと思えば「△」をかく。</p> <p>③ 互いにできるかどうかを尋ね合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> P26を印刷しておく、相手を変えてインタビューできる。 <p>7. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の態度や英語面についてよかったところを具体的にあげることで、次時への意欲を高めるようにする。 気持ちのよいあいさつを英語で交わすことで、笑顔で授業を終わる。

単元名	修学旅行でインタビューしよう 2/3
ねらい	○ サインをもらう表現を知り、簡単な会話を使ってインタビューゲームをする。
教材	HRT CDプレーヤー、サインを書く用紙
教具	ALT 国旗のフラッシュカード(掲示用, 児童用)
授業計画	
1. あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 英語であいさつの後、日付け、曜日、天気、気分などを確認する。
2. 復習	<ul style="list-style-type: none"> 前時に学習した、“Excuse me.” “May I speak to you ?”について復習する。 国旗のフラッシュカードを用いて、会話をしながら復習する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>“Excuse me.” “May I speak to you ?”</p> <p>“Where are you from ?”</p> </div>
3. 新しい表現の練習	<ul style="list-style-type: none"> 修学旅行で見学しているときに外国の方に出会い、インタビューした後、サインをもらうという場の設定をする。 HRTがALTにインタビューすることにより、新しい表現を知らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>“Please sign my paper . ”</p> <p>H: Excuse me. May I speak to you?</p> <p>A: Yes, please.</p> <p>H: My name is ～. What’ s your name ?</p> <p>A: My name is ～.</p> <p>H: Where are you from ?</p> <p>A: I’ m from ～.</p> <p>H: Please sign my paper .</p> <p>Thank you very much. Have a nice day, Good-bye.</p> </div>
4. 対話練習	<ul style="list-style-type: none"> 指導者と児童全員で対話の練習をする。慣れたら、隣同士など児童同士で練習させる。 ①笑顔で、②目を見て、③はっきりした声で、という3つの点に気をつけてインタビューすることを確認しておく。できるかを尋ねたり、それに答えたりする表現を練習する。
5. ゲーム	<ul style="list-style-type: none"> 前時(Lesson Plan20)に行った「じゃんけんインタビューゲーム」をする。ゲームのやり方は前回と同じであるが、本時では、負けた児童は観点に沿った印と自分のサインを相手に書くように指示をする。5人にインタビューできたら席に座る。
6. あいさつ	<ul style="list-style-type: none"> 児童の態度や英語面についてよかったところを具体的にあげることで、次時への意欲を高めるようにする。 気持ちのよいあいさつを英語で交わすことで、笑顔で授業を終わる。